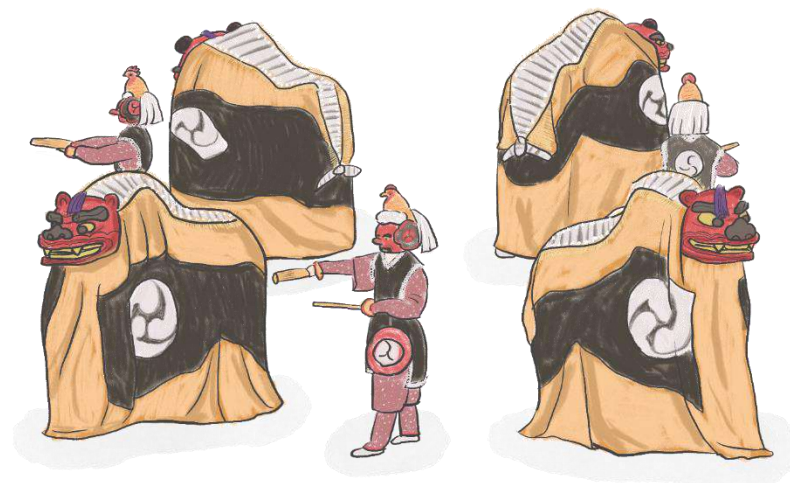




【伊奈富神社の獅子神楽】

担当 松阪市・小学4年生
四日市市・小学4年生
亀山市・小学5年生
亀山市・中学1年生
亀山市・中学1年生
四日市市・中学2年生



取材のきっかけ

私の町にも獅子舞の祭りがあるけれど、あまり詳しく知らなかったから

コロナ禍終わった今、久しぶりに開催される祭りをもっと多くの人たちに知ってほしいと思ったから。

祭りが大好きで、僕も大人になって祭りにでたいので、取材してお祭りのことをもっと知りたいと思ったからです



獅子神楽の概要

①いつから存在しているお祭りなのか

伊奈富神社の獅子舞は約1300年前から存在
壬申の乱（672）に天武天皇が獣神を奉納したことが
地域の獅子舞の発祥の起源とされる

②なぜ行うのか

春から始まる稲作の成功を祈るため

③いつ行うのか

2月初旬～3月中旬に行われる

3年に1度「丑、辰、未、戌」の年に行う
稻生地域の舞台をめぐる

④獅子舞とは

予祝行事としての側面や田仕事の順調な進行を祈願する

獅子舞の概要

獅子舞を構成する人々（合計21名）

- | | | |
|--------|----|----------|
| ・ 御人 | 4名 | 大人 |
| ・ 後舞 | 4名 | 子供（小3以下） |
| ・ 口取 | 4名 | 子供（小4～6） |
| ・ 笛、太鼓 | 3名 | 大人 |
| ・ 御先 | 4名 | 大人 |
| ・ 宮司 | 1名 | |

獅子舞で使われる道具

獅子舞では獅子頭以外にも道具が存在

- ・ 太鼓、 笛
- ・ ささら（竹製の獅子をあやす道具）
- ・ 装束類 等

自然由来の素材で作られた道具を用いることが特徴的である



獅子舞の概要

獅子舞の獅子について

- ・獅子は前に大人一人、後ろに子供一人の計二人で構成される。
- ・獅子は四頭存在し大宮、西宮、三大神、菩薩堂と名前がつけられている。また、顔にもそれぞれ個性が存在！大宮は男前、西宮は雌で耳が曲がっている、三大神は目が大きい、菩薩堂は若々しい。
- ・地域住民から親しみを込めておしっさんと呼ばれる



獅子舞の舞について

獅子舞の演目は8演目が存在

- ・ だんちょ
- ・ 中起し
- ・ 扇の舞（一頭舞）
- ・ 紙扇
- ・ 烏とび
- ・ おいたて（口取の演目）
- ・ 花の舞
- ・ 起し舞（二頭舞）

それぞれに意味が存在している

舞についての感想、おすすめポイント



それぞれの舞のストーリー性が面白いと思います。



獅子によって舞ぶりが異なって、性格が垣間見えている点が興味深いと思いました。



口取、獅子ともに個性が存在する点が魅力的であるなと思います。

調査して見えてきた獅子舞の裏側

①稽古について

舞年の一月の一ヶ月、ほぼ毎晩修礼を繰り返す！舞の練習や楽器の練習などを行う。

②神事としての側面

獅子舞は神の化身であるため、お参りする心を忘れないこと

調査して見えてきた獅子舞の裏側

③継承について

- ・ 物品調達が難しい
- ・ 継承者不足の問題
- ・ 認知度の問題

調査を終えての感想



獅子舞は身近にあったけれど、全然知らなかったなので、知れて良かったです。獅子舞は大人から子どもまで幅広い世代が関わってできる行事なので改めて魅力的だと感じました。



僕は、伊奈富神社の獅子神楽で使われているものより、少し軽い獅子舞を持たせてもらって、それでもとても重かったので、もっと重い本物の獅子舞を持っている人はすごいと思いました。



調査を終えての感想

祭りはさまざまな人の気持があってこそ今までつづいていることがわかりました。

獅子舞は神様を祀るために行っていたことがわかりました。また、いろんな人の思いがこもっていることもわかりました。

獅子舞は古くから続く伝統的なお祭りで、沢山の人の努力があり今まで続いてきたのだと思います。この伝統を絶やさないために一人ひとりができることをしていくべきだと思います。



調査を終えての感想,まとめ

伊奈富神社の古くから伝わってきた獅子舞は、人々を活気付け、迫力のあるカッコいい獅子舞ということがわかりました。

実際の舞を見て、私たちだけではなくもっと多くの人々にぜひ見てもらいたい！と強く思いました。

そして、みんなが元気になって明るい未来があると感じてほしいです！

三重県を、祭りを通してもっと盛り上げていけたらいいと思います。

